

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	合志市民健康カントリーマラソン大会開催事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局	課長名 高木敏明
	施策	20	生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名 中島 仁
	基本事業	67	学習・スポーツの啓発	所属班	スポーツ振興班	(内線) 1505
				法令根拠	スポーツ振興法	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8
	1	10	6	1	10780			コスト削減優先度評価結果	6

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 昭和58 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
 ・合志市民の健康増進、親睦融和を図るための健康マラソン大会。合志市民、合志市在勤者を対象に13部門を設け開催した。予算は特に報償費での大会参加賞及び参加賞代に使う。

【業務の流れ】
 ・会場の手配、企画立案、広報作業、集計作業、保険の手配、各団体への協力依頼、会場準備、司会進行、大会運営、後片付け、住民への報告、協力御礼の送付

【主な予算費目】
 報償費 旅費 雲田費 委託料 使田料及び賃借料

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度と同じ
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・カントリーパーク及び農農業大学校内に特設周回コースを設置し、年代性別等で部門別に分けて行った。参加者722名。	
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) → ア:マラソン大会実施回数 回 イ:
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民および市内在勤者(マラソン大会参加者)	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) → ア:マラソン大会参加者 人 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・健康増進に関心を持つことができる。 ・親睦融和を図れる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) → ア:健康増進に関心を持ってと思った参加者の割合 % イ:親睦融和を図れたと思った参加者の割合 %
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 学習やスポーツに参加する機会がある。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) → ア:取り組んでいないが今後取り組んでみたいと思う市民の割合 % イ:

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円	687	457	600	467	500	550		560
		一般財源	千円	2,154	1,114	1,446	1,195	1,546	1,496		1,486
	(A) 事業費計	千円	2,841	1,571	2,046	1,662	2,046	2,046	2,046		
		うち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0		0
		うち時間外、特殊勤務手当	千円	0	0	0	0	0	0		0
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	6	5	5		5
	延べ業務時間	時間	440	440	440	141	141	141	141		
	(B)人件費計	千円	1,747	1,751	1,751	561	561	561	561		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,588	3,322	3,797	2,223	2,607	2,607	2,607		

活動指標	回	1	1	1	1	1	1	1	1	目 標 数 計 値 画 22 年 度
対象指標	人	687	725	730	722	740	750	760		
成果指標	%	未把握	65	66	64	66	67	68		
	%	未把握	56	57	70	70	71	72		
上位成果指標	%	60.8	63.4	62.8	63.1	63.3	63.8			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 ・旧西合志町で昭和58年、旧合志町で平成7年より開始されており、合併後は第一回大会を合併記念大会として、市民及び在勤者の健康増進と親睦融和を目的に開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 平成18年度から警察からの道路使用許可取得が厳しい状況にあり、会場をカントリーパークに設定し行った。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 ・カントリーパークから来年度も開催場所として要望有。
 ・新年最初の健康運動として毎年この時期に開催して欲しい。

事務事業名	合志市民健康カントリーマラソン大会開催事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の市民、在勤者に健康増進への意識を持ってもらい、親睦融和を図ることにより、結果の学習やスポーツに取組むことの必要性を認識できる。施設や学習内容を知ることができるに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 市民の健康増進意識の高揚、親睦融和とまた、マラソン大会を通じてのまちづくりのためには関与は妥当であるといえる。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ ・対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 市内各学校、陸上競技協会の協力、本大会の定着化が進めば向上する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 大会参加を楽しみにしている約700名が、健康増進意識の高揚、親睦融和の機会を失う。また、「元気な合志市」のPRの機会を失う。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 他に類似の事業が無い
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 申込期間等を早め、参加者を早急に確定させることにより参加賞、ゼッケン等の発注業務を早くできることにより発注無駄がなくなり削減に結びつく。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ・効率的におこなっている。本大会の趣旨を崩さず移管できるような団体は今のところない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 参加者より大人千円、子ども五百円の参加料を公平・公正に徴収している。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性については毎年この時期に大会があることを市民・団体に定着させ、早い段階で都合を合わせやすくすることで参加者が増える余地がある。 効率性についても早い時期に参加者数を把握できれば、参加賞やゼッケン等の作成経費を削減できるが、どうしても大会直前になってエントリーしたいと申し出てこられる市民の方も多い現実がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
・本大会の現状を維持しながら、各学校、陸上競技協会の協力・早期の周知活動を要請していく。 ・申込期間等を早め、参加者を早急に確定させることにより参加賞、ゼッケン等の発注業務を早くでき発注無駄がなくなりコストダウンに結びつく。																									
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									
・市内各学校および合志市陸上競技協会の協力 ・合志市民へのPR、行事としての定着化																									

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	2	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)